

# 台風10号



## 岩手県岩泉町で調査



下水道管の蛇行（上）や破損（下）を目視で確認

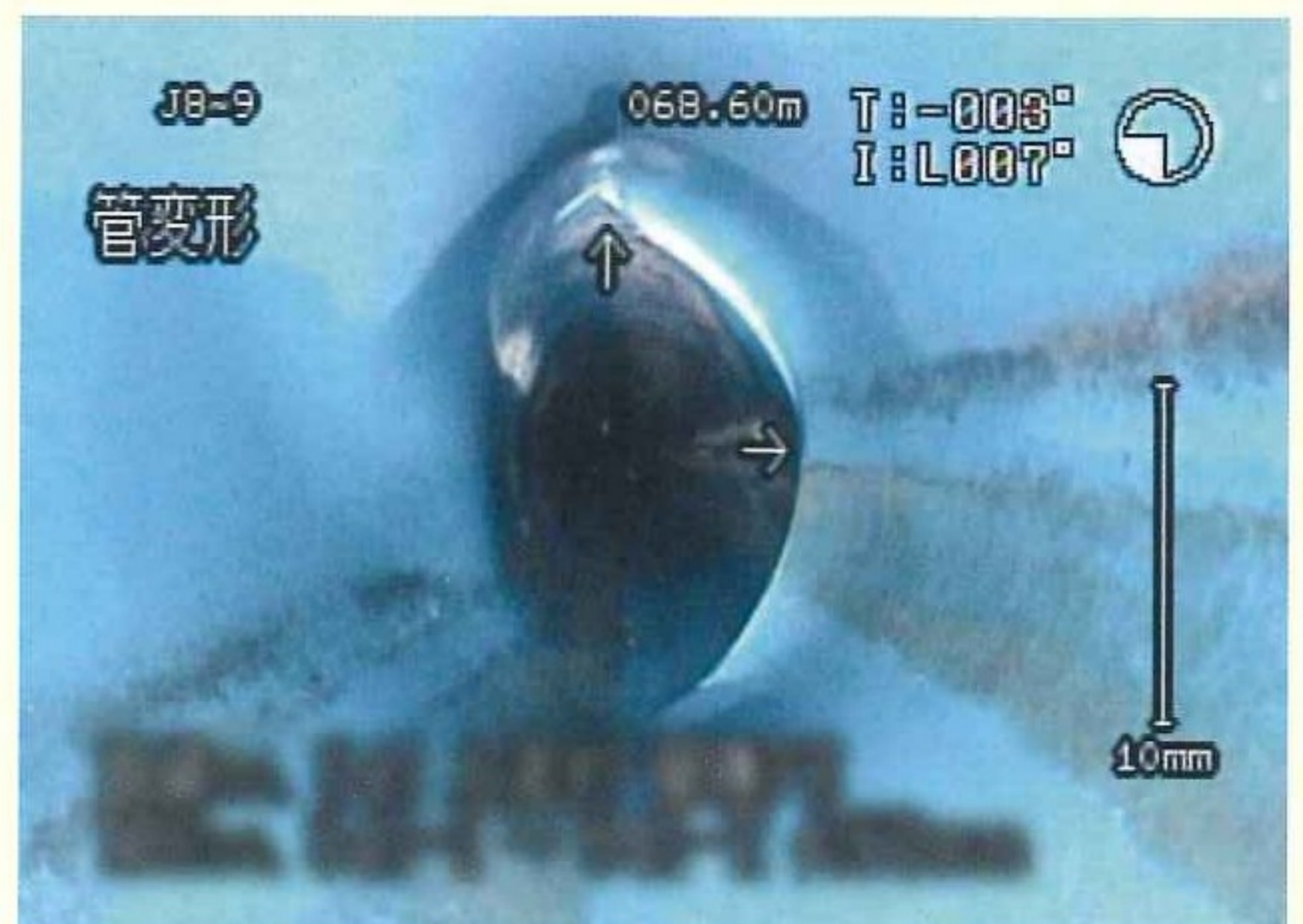
## 猛烈な雨で 管路にも被害が

8月30日に東北地方太平洋側に上陸した台風10号は、北海道や東北地方の広い範囲で猛烈な雨を降らせ、その影響で浸水や道路崩壊が発生し、下水道施設にも被害を及ぼしました。

当協会東北支部では、多数の被害を受けた岩手県岩泉町で、約1カ月後の9月29日にTVカメラ調査を80m行いました。下水道管路の蛇行や、破損、また管内では変形やたるみといった被害がみられました。



管内調査の様子



変形やたるみの被害がみられた



## 支部活動ニュース

### 東北支部：台風10号に関連した岩泉町管路調査

8月30日に発生した台風10号は岩手県を横断し、県内に大きな災害の傷跡を残しました。大量の雨が下流に降り洪水を起こしているところに上流から大量の水が流れ込み、大量の流木が橋梁の桁、橋脚にからみ、流れをせき止めさらに被害を増大させました。

東北支部では岩手県と協議し下水道被害情報を得て対策を検討しました。岩手県にはTVカメラ調査を希望しましたが市町村からの要請はありませんでした。9月6日、岩泉町上下水道課施設管理室と打合せを行い、約1カ月後の9月29日にTVカメラ調査依頼を受けました。直ちに1次調査を行い、10月11日には2次調査を完了しました。

現在でも、交通網は完全に遮断され、孤立集落の問題はいまだ解消されていません。早期のライフラインの復旧が求められます。



台風10号での災害復旧